

夏期大学「新しい気象学」教室（第2回）

開講のお知らせ

主催：日本気象学会

東京都千代田区大手町1-7 気象庁内

後援：東京都教育委員会

東京都理科教育研究会

日本地学教育学会

協力：森重出版株式会社

昨年開催し好評を得ました「新しい気象学教室」を、本年も同じ時期に開催します。この講座は新しい気象学の普及をめざし、主として中・高校の地学・理科担当教師を目標として行うものですから、特に教職にある方の多数の御参加を希望いたします。

記

期日：昭和43年7月22日（月）～7月27日（土）

場所：東京都千代田区大手町1-7 気象庁内 気象庁講堂但し、台風来しゅう時には講堂の使用が不能になりますので、会場を変更することもあります。

対象：小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし、その他学生および一般の希望者。

受講料：一般1,500円、教員または気象学会員・日本地学学会員1,300円、学生1,000円。

申込先および期日：東京都千代田区大手町1-7 気象庁内 日本気象学会事務局に昭和43年7月10日までに申込むこと。

申込方法：下記の様式の申込用紙（縦13cm×横18cmの大きさ）に記入の上、受講料および必要な書類を添え、現金書留にて昭和43年7月10日まで事務局宛申込むこと、参加決定次第に受講証を返送します。但し定員に達し次第メ切りです。

注意事項：受講者には講義全内容の講義録を無料配布します。全講義終了後、受講者には受講証を交付し、全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除、学会出版物についての便宜をはかる。

講義録：地方在住者で本講座に出席できず、講義録のみ希望される方は「天気」6月号はさみ込み葉書を利用の上、学会事務局あて必要部数を申し込んで下さい。1部400円、送料別、申込みのあった方に対しては、送料を加算し代金を請求し、事務局で代金受取次第、8月上旬に講義録を発送します。なお昨年は刊行部数が少なく、希望者全員におわけすることが出来ませんでしたので、今年は予約制をとりましたが、希望者はできるだけ早めに申し込んで下さい。申込みメ切りは7月10日

夏期大学「新しい気象学」教室(第2回)受講申込書

東京都千代田区大手町1-7

日本気象学会事務局 御中

第2回夏期大学の受講を希望いたしますので、受講料を添えて申込みます。

氏名	年令	才	職業
自宅住所			電()
勤務先			電()
所属学会			

◎現職教師の方、日本気象学会員、日本地学教育学会員、学生の方は簡単な証明書を添えて下さい。

◎申込期日は7月10日までですが、定員をオーバーした場合は申込みをお断りすることがあります。

夏期大学「新しい気象学」教室講義日程表

講義日	時間	講義内容	講師
1日目 7月22日（月）	午後5：30より	世界の気象と気象学 南極の気象	小倉 義光（東大海洋研） 清野善兵衛（気象庁南極観測事務室）
2日目 7月23日（火）	午後5：30より	大気大循環論の思想的基盤 気象衛星	廣田 勇（東大地球物理教室） 土屋 清（気象庁予報課）
3日目 7月24日（水）	午後5：30より	山岳気象 メソ気象	中村 繁（気象庁高層課） 島田 守家（気象庁予報課）
4日目 7月25日（木）	午後5：30より	生物と気象 天気予報	安藤 隆夫（東京管区気象台調査課） 倉 嶋 厚（気象庁予報課）
5日目 7月26日（金）	午後5：30より	海洋と気象 高層天気図	半沢 正厚（気象庁海上気象課） 宮沢 清治（気象庁予報課）
6日目 7月27日（土）	10：30 13：00より	気象庁見学 航空気象 台風	杉本 豊（東京航空気象台） 田村 邦雄（気象庁予報課）

注：なお7月24日（水）午後、気象研究所の見学を行なう。